



一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン 平成27年度第4回理事会議事録

1. 日 時 : 2015年7月11日(土) 13:00~16:00
2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1インターグループビル 6F会議室
3. 出席者
 - (1) 本人出席者 4名
高橋友一、今井俊二、島谷太、丹羽尚子
 - (2) 委任状提出者 6名
北原達正、中島晃芳、野村泰朗、平光宗基、松原仁、金田忠裕(監事)
 - (3) 理事以外出席者 3名
蟬正敏(監事)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)
 - (4) 欠席者 1名
前田正久(事務局長)

4. 議 事 報告

1. 世界大会旅費補助について
2. 2014年報について

審議

3. RCJJ内規の整備
4. RCJJ2015会費について
5. 会員サービスについて(junior教材、ブロックの事業支援)
6. 議事録署名人の選定
7. その他

5. 配付資料

- 資料1. 27年JST補助金について
- 資料2. RCJJ運営規定ver. 4.03(案)、RCJJ組織図(案)、新ブロック区分け(案)
- 資料3. ロボカップジュニア日本大会2014埼玉大学運営基本原則
- 資料4. RCJJ 関連スケジュール
- 資料5. 5/23ブロック長との意見交換会資料7 修正版
- 資料6. RCJJ会員登録申込書等雛型
- 資料7. 高橋先生7/1玉川大学打合せメモ
- 資料8. 埼玉ブロック長玉水様の後援申請における要望

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 27年JST補助金について

①浅沼事務局員より、資料1に基づき27年JSTの上期支援金額の内訳説明、および世界大会の会場変更に伴い、ホテル会場間の追加バスチャーター費用として50万円かかることとなったが、公式ツアー参加者全員がこのバスを利用することとなり、JJ会員(23名)と引率者(1名)の計24名分は、JST支援金で補うことが可能となった旨、報告がなされた。
また世界大会の引率者が中島理事から野村理事に変更となったことに伴う野村理事が既に予約していた旅費のキャンセル代金など関連の費用については、ジュニア・ジャパンが負担することで承認された。



(3) 2104年報について

①丹羽理事から2014年報について報告がなされ、原本を閲覧した。写真などを考えカラー印刷にし、配布先は2014年世界大会出場チーム(原稿寄稿チーム)、各ブロック、正会員とすることから印刷部数は100部とするになった。その条件での見積もり額は、当初白黒印刷での予算34万円より上回ることから、相見積を取り再検討をした上で、予算額をこえた額は普及費で手当てし2014年報を印刷、発送する事が承認された。

(4) RCJJ内規の整備について

①高橋代表理事から、資料2に基づき、運営規定を引続き整備していく旨説明がなされた。それに伴い、

- ・ 9月を目途にノード、ブロック大会開催情報(開催日、場所、開催リーグ)、大会終了後は開催報告(開催日、場所、開催リーグ、結果等)のチェックシートを丹羽理事が作成し、今井理事と協力してホームページ内よりダウンロードできるようにする、
- ・ 各ノード、ブロックは、HPにあるシートを提出するように依頼することとなった。その際、ノード段階では、基本情報に加え、参加者の性別を学年毎に区分けしてもらうこと、ブロック段階ではジャパンオープンへの推薦チーム名、メンバー名を記載してもらうこと、開催報告には写真(集合写真、競技中写真)を添付してもらうことになった。

②組織図については、丹羽理事より、内容が分かりにくいので手直しが必要であると提案がなされた。

③資料4に基づき、高橋代表理事からRCJJ関連スケジュールの確認がなされた。RCJJの活動資料として一般社団法人の年報と日本大会の活動に主とする会報の2種類を用意する事が承認された。

2015年報は尼崎ジャパンオープン大会報告、世界大会報告(中国 合肥)、2015決算、2016予算を含めた内容とし3月総会後の2016年4月の発行を目指す。2015会報は、2015秋からのノード・ブロック大会と2016ジャパンオープン大会報告を会員の視点から編集することとなった。

今後引き続き検討する事項としては、表彰状作成システムのノウハウを事務局等に移行してもらうこと、年度毎の会員登録システムの構築などが挙げられた。

④資料5にあるジャパンオープン開催要項については、島谷理事に見直しをしてもらうこととし、基本的に大会全体についてはRCJJ、大会の運営(開催ルール等)は実行委員会で協議することを確認した。

(5) 会費サービスについて

①浅沼事務局員より、資料6に基づき、今年度会員募集に際しての申込書等雛型の変更点について報告がなされ、承認された。

②会費については、金額、申込期間の撤廃等、改訂すべき点があるとの意見が出たが、今年度会費については3月総会にて承認されているため、昨年と同様金額で募集する旨説明がなされた。また会員メリットに関しても、JST支援の5年が28年度で終了するため、29年度を目途に再度検討する旨説明がなされた。

③島谷理事より、ホームページ全体を見直した方がよいのではないかと意見があった。各ブロックの紹介、問い合わせ先などリンクを含めたシステムをブロックの方と協力して運営できるような形で(必要があればサーバの管理会社の変更を含め)構築する。併せて、従来野村理事が管理していたロボカップジュニアのドメイン管理を事務局管理とする事になった。

この件について島谷理事と今井理事のもと、9月末頃までに、普及費の中から100万円を上限に支出し、進める事が承認された。

④高橋代表理事から、資料7に基づき、本及びダウンロードの形で今後小学生の副読本となるような教材作成を目指し、2017年名古屋で世界大会が開催される場合には、その際配布できるよう、引き続き日本委員会と協力し、進めていくとの報告があった。

⑤高橋代表理事から、資料8に基づき、各ブロックへの支援のあり方について説明があった。資産管理の観点から、機材をRCJJで購入し貸与する方法でなく、ブロックの機材購入を補助する方法をとる事し、今年度はサッカーもしくはレスキューのフィールド作成費用として、ブロックあたり上限4万円、総額100万円を目処に普及費から補助することとなった。今井理事の下で、申請手順及び申請フォーマットを作成し、8月中旬までに理事会にて承認を得た上で進めることで承認された。

関西ブロックで作成しているサッカー審判用ルールブックの共有化、スコアシートの標準化については、各チャレンジでルールの公開とともに8月末を目途に用意してもらうこととなった。

(6) その他

①次回理事会は9月13日(日)13:00-16:00に大阪で開催する。11月の理事会は11月7日(土)を予定することとなった。

(7) 議事録署名人の選任

閉会に当たって議長から、本日の議事録署名人として、島谷太氏、及び丹羽尚子氏に
お願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成27年7月11日

議長 高橋 友一

議事録署名人 島谷 太

同 丹羽 尚子

